

令和2年度生徒指導集中対策，生徒指導実践指定校及び不登校等未然防止推進校

「指定校における取組事例」

学校名	庄原市立庄原中学校	校長	定宗 讓二	担当者名	小田 昌滋
-----	-----------	----	-------	------	-------

取組事例名 『組織的生徒指導体制の確立』

○	生徒指導に係る連携体制の確立	カウンセリング・マインドを もった教職員と児童生徒との対話	主体的な活動を通じた絆づくり
---	----------------	----------------------------------	----------------

取組における育てたい資質・能力

不登校未然防止推進校として，不登校・不登校傾向生徒に対する，校内での情報連携を積極的に行い，個に応じた適切な指導を組織として行うことにより，生徒の登校に対する意識の向上や，登校に向けての行動力を高める。

取組のねらい

- 組織的な生徒指導体制の確立
- スクールカウンセラー，スクールソーシャルワーカー，関係機関との連携を密にした指導
- 問題行動，不登校の未然防止

取組の具体的内容

- 毎週金曜日の1時間目に，定例生徒指導部会（校長・教頭・生徒指導主事・学年生徒指導担当・スクールソーシャルワーカー）を実施した。その中で問題行動や不登校生徒の情報の共有を図り，共通認識のもと組織的な対応を行った。
- 生徒の状況に応じて，スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携を行い，生徒へのカウンセリングや保護者との面談を積極的に実施した。
- 生徒の様子を常に把握するため，生徒玄関での挨拶指導や検温等の確認，各学年のフロアでの生徒指導，職員室での電話対応など，各学年で分担を決め，毎日実施した。
- 職員室のホワイトボードを活用し，生徒の出席状況を常に把握できるようにした。出欠席の連絡が無い生徒については1時間目が始まるまでに，必ず保護者に連絡を行い，状況の把握を行った。
- 放課後は下校指導を行った後，学年会を行い各学級の状況の交流と，今後の確認を毎日行った。学年会で出された内容は，毎週の生徒指導部会で情報の共有化を図っている。

取組の創意工夫

- 定例の指導部会の際には，資料として別紙様式6を活用し，不登校・不登校傾向生徒の1週間の状況や取組内容，今後の支援について記入し，情報共有と対応の検討を協議している。
- 生徒の状況を常に把握するために巡回簿を作成し，学年毎に毎時間担当者を決め，授業中の各教室を巡回し，生徒の状況を把握している。

取組の成果と課題

- 校内での連携体制は十分に機能しており，問題行動の対応や不登校・不登校傾向生徒の対応を担任まかせになることがなく，組織としての動きができています。
- 個に応じた対応の検討や綿密な情報共有を積極的に行ってきたが，ケースによっては不登校状況の改善に繋がらない生徒や，関係機関への相談や連携を行っても改善に至らないケースがあった。